



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス

コード番号 7455 URL <http://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多根 裕詞

問合せ先責任者 (役職名) IRチーフ

(氏名) 森 京子

TEL 03-6408-8628

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,579	0.1	744	△51.7	748	△53.2	247	△69.1
23年3月期第2四半期	31,551	7.3	1,542	127.2	1,598	82.4	800	36.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 295百万円 (△52.4%) 23年3月期第2四半期 620百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.80	—
23年3月期第2四半期	15.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	55,756	42,437	75.7
23年3月期	54,720	42,606	77.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 42,197百万円 23年3月期 42,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,627	0.8	2,086	96.5	2,266	36.0	1,158	144.5	22.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.3「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	56,057,474 株	23年3月期	56,057,474 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,569,025 株	23年3月期	4,568,405 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	51,488,702 株	23年3月期2Q	51,496,798 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内の経済は回復過程にあるとみられますが、個人の消費意欲が上向いているとは言えず、小売業界全体としては景気の回復を感じられるには至らない状態が続いておりました。物価の下落幅も徐々に縮小していく傾向にはありますが、下落基調は継続しておりデフレ感は今後も残るとみられます。

このような状況の中、当社グループは業態を明確にしグループ全体として包括的に顧客のニーズに応えていける体制作りを行ってきました。

主要子会社であります㈱三城におきましては、基本に立ち返り、得意としてきたアフターサービスや顧客満足の追求を徹底して行ってきました。また当社グループにしかできない品揃えや品質を維持するとともに、価値訴求に対しましても「らくらく君シリーズ」、「らくみみ」をはじめとする機能性に特化したフレームやレンズ、他になり商品の開発も行っており反響は高まっております。また、facebook、twitterなど新しいメディアへの発信により、新たな市場の開拓と既存のお客様の掘り起こしにも力を入れてまいりました。

以上の取組みは既存店舗の売上に貢献しておりますが、出退店を含めた売上高、利益は前年を下回っております。出退店数につきましては、出店9店舗（年間計画15店舗）、退店16店舗（年間計画30店舗）と計画通り進めております。

海外子会社につきましては、世界的に景気が回復しているとは言えない中、厳しい結果となりました。オーストラリア法人も立て直しに取り組んでおりますが、過渡期であり結果はまだ見えておりません。アジア地域は利益を出し堅調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高31,579百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益744百万円（前年同期比51.7%減）、経常利益748百万円（前年同期比53.2%減）、四半期純利益247百万円（前年同期比69.1%減）となりました。

報告セグメントは、次の通りであります。

1) 日本

国内の売上高は28,531百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益838百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

2) 海外

海外の売上高は3,228百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント損失98百万円（前年同四半期のセグメント損失125百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債および純資産の状況）

総資産は前連結会計年度末に比べ1,035百万円増加して55,756百万円となりました。これは主に、流動資産における現金及び預金が602百万円増加したことと、商品及び製品が525百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ1,204百万円増加して13,318百万円となりました。これは主に、流動負債における短期借入金が3,389百万円増加したことと固定負債における社債が2,500百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ168百万円減少して42,437百万円となりました。これは主に、株主資本における利益剰余金が216百万円減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対して1,591百万円増加し、11,962百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は951百万円（前年同四半期は2,378百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益567百万円と減価償却費及びその他の償却費776百万円によるものです。

投資活動の結果得られた資金は271百万円（前年同四半期は3,397百万円の支出）となりました。この内訳の主なものは、定期預金の純増減額による収入987百万円と有形固定資産の取得による支出627百万円によるものです。

財務活動の結果得られた資金は385百万円（前年同四半期は3,105百万円の収入）となりました。この内訳の主なものは、短期借入金の純増減額による収入3,389百万円と社債の償還による支出2,500百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表しました当第2四半期連結累計期間における業績予想と実績値との差異を公表いたしました。

詳細につきましては、平成23年11月11日付「平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期業績予想につきましては現在のところ修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,037	20,640
受取手形及び売掛金	2,855	3,256
有価証券	610	611
商品及び製品	9,199	9,725
原材料及び貯蔵品	794	1,030
繰延税金資産	1,353	1,232
その他	1,683	1,169
貸倒引当金	△15	△18
流動資産合計	36,518	37,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,940	3,939
機械及び装置（純額）	10	14
工具、器具及び備品（純額）	1,614	1,691
土地	1,070	1,070
建設仮勘定	17	52
その他（純額）	273	229
有形固定資産合計	6,926	6,998
無形固定資産	892	955
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,908	8,699
建設協力金	596	552
その他	862	923
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	10,348	10,155
固定資産合計	18,167	18,109
繰延資産		
社債発行費	34	—
繰延資産合計	34	—
資産合計	54,720	55,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,656	1,860
短期借入金	1,832	5,221
未払金	2,060	2,070
未払法人税等	533	215
賞与引当金	1,043	1,411
店舗閉鎖損失引当金	179	266
災害損失引当金	65	9
その他	1,306	1,359
流動負債合計	8,679	12,415
固定負債		
社債	2,500	—
役員退職慰労引当金	38	41
資産除去債務	362	369
その他	533	492
固定負債合計	3,435	903
負債合計	12,114	13,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	38,496	38,279
自己株式	△8,399	△8,400
株主資本合計	42,826	42,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
為替換算調整勘定	△463	△411
その他の包括利益累計額合計	△466	△412
少数株主持分	246	240
純資産合計	42,606	42,437
負債純資産合計	54,720	55,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	31,551	31,579
売上原価	9,501	10,227
売上総利益	22,050	21,352
販売費及び一般管理費	20,507	20,607
営業利益	1,542	744
営業外収益		
受取利息	16	22
受取賃貸料	40	38
受取手数料	21	35
その他	47	70
営業外収益合計	126	167
営業外費用		
支払利息	4	6
社債利息	13	12
社債発行費償却	4	34
為替差損	30	97
その他	17	13
営業外費用合計	70	163
経常利益	1,598	748
特別利益		
固定資産売却益	8	1
災害損失引当金戻入額	—	41
特別利益合計	8	42
特別損失		
固定資産除売却損	8	50
店舗解約損失金	14	36
災害による損失	—	7
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	128
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	217	—
特別損失合計	240	222
税金等調整前四半期純利益	1,367	567
法人税等	565	319
少数株主損益調整前四半期純利益	801	248
少数株主利益	1	0
四半期純利益	800	247

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	801	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	1
為替換算調整勘定	△162	45
その他の包括利益合計	△181	46
四半期包括利益	620	295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630	301
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,367	567
減価償却費及びその他の償却費	706	776
賞与引当金の増減額 (△は減少)	376	367
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	2
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△91	118
受取利息及び受取配当金	△18	△26
支払利息	18	18
為替差損益 (△は益)	11	57
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	49
売上債権の増減額 (△は増加)	△285	△437
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△156	△762
その他の資産の増減額 (△は増加)	225	605
仕入債務の増減額 (△は減少)	333	90
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	217	—
その他の負債の増減額 (△は減少)	△50	80
その他	25	△32
小計	2,683	1,476
利息及び配当金の受取額	21	22
利息の支払額	△18	△20
法人税等の支払額	△307	△527
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,378	951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,011	987
有形固定資産の取得による支出	△583	△627
投資有価証券の取得による支出	△6	△3
敷金及び保証金の差入による支出	△110	△122
敷金及び保証金の回収による収入	290	230
建設協力金の回収による収入	72	61
その他	△48	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,397	271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	3,389
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
社債の発行による収入	2,456	—
社債の償還による支出	—	△2,500
配当金の支払額	△810	△462
その他	△39	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,105	385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,010	1,591
現金及び現金同等物の期首残高	17,546	10,371
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,560	11,962

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,513	3,038	31,551	—	31,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	180	71	252	△252	—
計	28,694	3,109	31,804	△252	31,551
セグメント利益又は損失（△）	1,716	△125	1,591	△48	1,542

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△48百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,423	3,155	31,579	—	31,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	72	179	△179	—
計	28,531	3,228	31,759	△179	31,579
セグメント利益又は損失（△）	838	△98	739	5	744

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。